

エスワントaiホウ+シスプラチン+ベバシズマブの治療をお受けになる方へ

★治療スケジュール

症状や経過に合わせて治療スケジュールが変わることがあります。初日の点滴は下記の他に腎障害軽減のため治療前後に電解質輸液があります（計5時間30分【3回目以降】のスケジュールです）。

お薬の名前	1 日目	2～21 日目
吐き気止め	 30 分	お休み
ベバシズマブ (ベバシズマブ) mg	 初回は 90 分、 2 回目 60分、 3 回目以降は30 分	お休み
シスプラチン (シスプラチン) mg	 1 時間	お休み
エスワントaiホウ (テガフル・ギメラシル・ オテラシルカリウム) 1日 mg	2 週間  朝食後  夕食後 個 個	1 週間 お休み

◎飲み忘れた場合には、忘れた分を服用せず、次の分から服用してください。

絶対に2回分を一度に飲まないで下さい。

この薬の副作用が強く現れるおそれがあります。

※注射とは別に吐き気止めの内服薬があります。初日のアプレピタント125mgは抗がん剤の始まる1時間前に内服し、2・3日目のアプレピタント80mgは朝食後に内服します。2・3・4日目のデカドロンは朝・昼食後に内服します。

★起こりやすい副作用 これらの副作用が、すべての方に起こるわけではありません。

〈血液検査からわかる副作用〉

白血球減少

白血球は体内へ進入した細菌から体を守る重要な役割があり、抗がん剤の影響で白血球が少なくなると、菌やウイルスに感染しやすくなります。

⇒日頃から手洗い、うがいなどの感染対策を！ 白血球が少ない時期は人ごみを避けましょう。

血小板減少

血小板は出血した時に血を止める働きがあります。血小板が少なくなると、歯肉からの出血や内出血、鼻血などが起こりやすくなります。

⇒血小板が少ない時期は、ケガをしないように注意して下さい。

腎機能障害

抗がん剤の影響で腎臓がうまく働かなくなることがあります。腎臓の働きが悪くなると、お薬が体内から抜けにくくなり、副作用が強くなる場合があります。お薬の排泄を促すために、たくさんの点滴をして腎臓に尿をたくさん作らせることが大切です。

⇒2・3日目はOS-1かポカリスエット1Lを含む1.5L以上の水分を必ず取ってください。

〈ご自身でわかる副作用〉

悪心・嘔吐・食欲不振

個人差の大きい副作用です。治療時期に合った吐き気止めを使います。ただし、水分もとれない場合は病院へ連絡して下さい。

⇒食欲がなくても、水分はしっかりとるようにして下さい。

下痢

1日3回以上の排便、もしくは明らかな排便回数の増加がみられた場合は、下痢止めを服用して下さい。下痢止めを2回服用しても、よくなる場合は、病院への連絡が必要です。

⇒脱水を防ぐために、下痢または軟便の時は、水分をしっかりととりましょう。

出血

鼻や歯肉、膣などの粘膜から出血することがあります。また、患部から出血することもあります。10～15分たっても血が止まらない場合は病院へ連絡して下さい。

口内炎

治療開始1週間ほどで口の中や歯肉がしみる、ひりひりする、赤くなるといった症状が出ることもあり、うがい薬や口腔用の軟膏を使うことがあります。痛くて食事がとれない場合は、病院へ連絡して下さい。

⇒こまめにうがいや歯みがきをして、口の中を清潔に保して下さい。

手足症候群

手のひらや足の裏が赤くはれたり、ヒリヒリ・チクチクすることがあります。症状が強くなると、皮膚のひび割れや水ぶくれなど日常生活に支障をきたすおそれがあります。休薬が必要な場合もあるので、痛みが強い場合には、病院へ連絡して下さい。

⇒こまめに保湿剤を使って皮膚が乾燥しないように心がけましょう。

高血圧

血圧が上がることがあります。血圧が高いと頭痛をとまなうことがあるので、場合によっては、血圧を下げる薬を使うことがあります。

⇒血圧は、毎日決まった時間に測定し、記録をつけていきましょう。

流涙（なみだ目）

末梢神経障害

治療回数が増えると徐々にしびれが出てくる場合があります。治療を終えても、しびれが回復するまで時間がかかります。

⇒日常生活に支障が出る時は、主治医に相談して下さい。

聴覚障害

創傷治癒遅延（傷が治りにくい）

★すぐに連絡をいただきたい副作用



- ★「尿量が少なくなる」、「ほとんど尿が出ない」、「一時的に尿量が多くなる」、「むくみ」、「体がだるい」（急性腎不全）
- ★「階段を登ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる」、「空咳が出る」、「発熱する」このような症状が急に現れる、または以前から症状があった場合は、症状が急に悪くなる。（間質性肺炎）

※ここに記載した副作用以外にも、体の異常を感じたら病院にご連絡ください。